

流動化する野党

1

## 民主 安保法で路線対立

50

れるだけだ

## 澤俊美元防衛相が国会内の全

共産党が呼びかけて連立政権には応じない考えを強調しつつ、こう続けた。

反論したのは細野だ。同調者はいなかつた。野党がバラバラでは、来夏の参院選

議室に党安保総合調査会の幹部らを集め、共同提出に向かって党内調整をスタートさせた。

「選舉区がバツアイングしないところは共産党との連携を進めていく」

で「一強」の自民党を利用するだけだというのが、岡田や枝野の考え方だ。

細野はその夜、同じ保守系の前原誠司元外相、長島昭久元防衛副大臣と東京・銀座の

「自民一強」を喜がす野党勢力の姿が見えてこない。来夏の参院選を見据え、野党共闘や新党で活路を開こうとするが、むしろ足並みの乱れが際立っている。野党各党の動きを探る。

「これに細野が異を唱えた。  
「政策の差がありすぎる。  
一緒にやるわけにはいかない。  
い。『民主党は政権を担当する  
つものがいるのか』と疑わ

岡田は、安全保障関連法の一部を廃止する法案を共産党を含む野党と共同提出する方針も掲げる。8者会議の数時間後、岡田の指示を受けた北

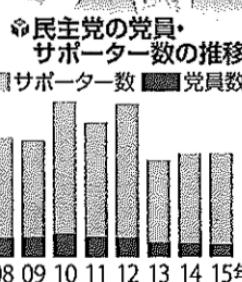
「バーチでグラスを傾けた。」  
「政策を現実的な路線に持っていきたいが、なかなか出来ないんです」と吐露し、肩を落とした。

5日午後1時、民主党本部  
8階の一室に岡田代表、枝野  
幹事長、細野政調会長ら幹部  
が顔をそろえた。国会対策委  
員長や参院執務一部も加えて8

針も掲げて、8者会議の数時間後、岡田の指示を受けた北

員、  
の推移  
■ 党員数

ないんです」と吐露し、肩を落とした。



党员・サポーター低迷 23万人

幹事長 総理政調会長ひ草部  
が顔をそろえた。国会対策委員長や参院執行部も加えた8人  
が、当面の党の方向性を議論する「8者会議」である。  
岡田は、共産党との共闘路線について切り出した。

「共産党と連合政府を作る」というイメージが持たれていたが、そんなことは決してあ

◆民主党の党員・  
サポーター数の推移

| 年    | 党員数 | サポーター数 | 合計 |
|------|-----|--------|----|
| 2007 | 10  | 10     | 20 |
| 2008 | 10  | 15     | 25 |
| 2009 | 10  | 15     | 25 |
| 2010 | 10  | 25     | 35 |
| 2011 | 10  | 25     | 35 |
| 2012 | 10  | 25     | 35 |
| 2013 | 5   | 15     | 20 |
| 2014 | 5   | 15     | 20 |
| 2015 | 5   | 15     | 20 |

民主党の党員・サポート一  
数は、政権獲得直後の201  
0年に最多の計34万7732  
人（党員5万2115人、サ  
ポートー29万5618人）を  
記録したが、12年末に政権か  
ら転落すると、13年には計21万  
6549人に落ち込んだ。そ

の後は計約23万人で推移している。  
党員とサポーターには、半  
表選の投票権が与えられる。党員はさらに、各総支部で  
党員会議に参加して党の運営  
方針などについて意見を述べ  
ることができる。

路線対立が続き、党勢回復の兆しは見えない。それでも党内の危機感は薄い。若手議員は途方に暮れる。

「民主党を賣かす野党」が、なくなり、党内は奇妙な安全感に包まれている。結局は、国民党の瓦解を待つしかないのか？」  
（敬称略）

の目塔<sup>タカ</sup>い議も復

人は日米関係を重視するから、安保法の「廃止」なく、「修正」を求めて。党の政策責任者である私は「選挙での連携にこだわり、あまり、安保政策で共産手を組む神経がわからなと不満をぶらまけた。守色の強い安倍政権に対する抗議で、党内の多くがリル傾斜を強める中、共産の接近に反発する保守系はかき消されがちだ。1代表選で、細野と接戦を広げた岡田が、リベラル主党の党員・サポート、政権獲得直後の201に最多の計34万7千人、党員5万2千人、サターナー29万5千人、8人)を落すと、13年は計21万49人に落ち込んだ。そ

派の代表格・赤松広隆前衆院副議長が率いる旧社会系グループの後押しで勝利したことも背景にある。赤松は周囲に「岡田さんは私たちの意旨をよく聞いてくれる」と言っていたばかりだ。

だが、共産党との連携は、受け入れられているとは言い難い。10月25日の宮城県議会で民主党は2議席減らし、倍増の共産党に第2党の座を奪われた。翌26日には、松本剛明元外相が「民主党の進む方向針などについて意見を述べることができる。

た」と離党を表明した。危機感を強める長島は、执行部内で孤立する細野に「同志はいくらでもいる。解党を求める固まりを作らないといけない」と声をかけている。9月に解党の要望書を岡田に提出した岸本周平衆院議員を中心堅・若手議員らと連携し、政策本位の野党結集を図る動きが始めた。

岡田らは、こうした動きを静観している。維新の党が分裂し、「第3極」は弱体化した。岡田に近い幹部は「自民党に対抗できるのは民主党しかない。解党論は広がらないだろう」とみている。

路線対立が続き、党勢回復の兆しは見えない。それでも党内の危機感は薄い。若手議員は途方に暮れる。

「民主党を賣かす野党がなくなり、党内は奇妙な安堵感に包まれている。結局は国民党の瓦解を待つしかない」と

の目塙い 議も優 いし民し分を う・りん・いを同執